

令和4年度 今治工業高等学校 シラバス

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3単位
学科	機械造船科	学年	3学年		
学習目標	産業の急速な技術革新における社会の変化に対応するために、問題解決能力を育てることをねらいの一つとして、生徒が主体的にテーマを設定し作品製作、調査、研究など計画的に実施する計画力と実践力、自主的、継続的な学習を通して科学・技術に関する思考力及び探求的創造的な能力と態度を身に付ける。				
学習内容	学習項目			評価規準【評価の観点】	
	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 研究テーマ・指導者の決定 研究内容は五つに大別される。</p> <p>(1) 作品製作 (2) 調査研究 (3) 実験 (4) 産業現場における実習 (5) 職業資格の取得</p> <p>3 計画の検討と立案</p> <p>4 課題研究の具体的な展開と学習活動の実施</p> <p>5 研究結果の整理とまとめ</p> <p>6 研究成果の発表</p> <p>令和2年度の研究テーマは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上自転車の製作 ・防災ベンチの製作 ・環境改善活動 ・電動ミニボートの製作 ・高安定なジョンボードの製作 ・鉄アートの製作 ・ベンチプレスプレート台の製作 ・校内備品の整理 等 			<p>・課題研究の目標を理解している。 【A・B】</p> <p>・課題研究の目標を理解して、適切なテーマの決定ができる。【A・B・D】</p> <p>・必要な資料収集を適切に行うことができる。 【A・B・D】</p> <p>・常にフィードバックを行い、検討をしながら研究することができる。 【A・B・C・D】</p> <p>・研究内容をよく理解し、分かりやすくまとめることができる。 【A・B・D】</p> <p>・事前の準備を十分に行い、プレゼンテーションをすることができる。 【A・D】</p>	
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断 【C】 技能・表現 【D】 知識・理解				
評価方法	計画・実践段階の意欲や態度、中間報告、レポート、発表会におけるプレゼンテーションの総合評価				
教科書等	必要に応じて書籍・インターネット等で資料を収集する。				
備考	個人研究又はグループ研究で行う。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。